

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【公開番号】特開2008-73560(P2008-73560A)
 【公開日】平成20年4月3日 (2008.4.3)
 【年通号数】公開・登録公報2008-013
 【出願番号】特願2007-319183(P2007-319183)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 F

A 6 3 F 7/02 3 5 0 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 8

【手続補正書】
 【提出日】平成22年8月22日 (2010.8.22)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【発明の名称】パチンコ遊技台

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が獲得したパチンコ玉の数が記録される持玉計数部と、パチンコカードの情報が記録されるメモリと、カード読み書き装置と、前記遊技者が一時的に離れる場合に押される離席スイッチを有し、

前記離席スイッチが押されると前記カード読み書き装置に挿入されているパチンコカードに前記持玉計数部に記録されているパチンコ玉の数を示す持ち玉数情報と、前記持ち玉数情報を認識するための持ち玉認識情報が書き込まれた後、前記パチンコカードが前記カード読み書き装置から排出され、

前記カード読み書き装置に前記パチンコカードが再挿入されると、前記パチンコカードに書き込まれている前記持ち玉数情報および前記持ち玉認識情報が読み出され、前記メモリに記録されている前記遊技者が所持しているパチンコカードのカード情報と同等のカード情報である持ち玉数情報および持ち玉認識情報とそれぞれ比較されて、一致した場合に前記再挿入されたパチンコカードが前記遊技者が直前に挿入していたパチンコカードであると判断される

ことを特徴とするパチンコ遊技台。

【請求項 2】

前記持ち玉認識情報は、前記持ち玉数情報を認識可能な I D コードであること
 を特徴とする請求項 1 に記載のパチンコ遊技台。